

Back to おがわぎかげい No.96

議会だよりを読んだ感想を議員がインタービュー

安心して暮らせる
小川町に 根岸照之さん(木部)

根岸さんイチオシの記事はP.2～防災特集

前号の議会だより (No.96) で「読んでよかったです」と思ったのは、どの記事でしたか？

「聴く・知る・備える おがわ防災特集」です。我が家でも普段から生活必需品を備え、災害時には情報収集をいち早くし、速やかに避難行動に移れるよう心掛けたいものです。まずは「自分の命を守る行動」。記事を読んで、ご近所の助け合いも、より必要になると思いましたね。

—議会だよりへ「ひとコト」！

自然豊かで清流が流れ、伝統や文化の息づく小川町の未来・発展をしっかりと見続けていくたいですね。

Gikai's comment

これからも、町民の目線に立って役に立つ特集記事の充実を図っていきます！



次の定例会は

11月30日(月)～

午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは議会HPへ

議員□ おがわぎかげいNo.80～議員がインタービューした町民みなさんの数



だから 小川が好き！

町への想いを寄稿していただくコーナー

高齢者も「コロナに負けず」

いいじまよねこ
飯嶋米子さん(古寺)

私は上尾市に生まれ、35歳の時に小川町に転居してきました。あれから40年！自然豊かな小川町で、現在は夫婦2人で生活しています。



今年はコロナ禍で自粛生活を余儀なくされ、心が折れそうになる時があります。しかし、古寺で毎週(月)取り組んでいる「いきいき百歳体操」が支えになっています。地域の人たちと顔を合わせ、楽しい時間を共有することに幸せを感じて心が落ち着きますし、「小川町に住んで本当によかった」と思う時もあります。最後に、コロナ禍が終わり、自由に生活が出来る日が来ることを心から願っています。

コロナ禍

町民の声、「聞きます×つながります」

・今号の表紙・

我が家の宝もの



お孫さんと一緒に、毎朝小中学生の登校を見守っています。
いつまでも、お元気で！

編集後記

日々変わるコロナウイルス感染者数、全国の自治体がその対策に追いついていけない中、小川町議会は7月に臨時議会を開催。町民の皆さん的生活支援策について町長に対し2度、要望。そして、それらの執行状況について、前号で検証いたしました。町執行部には今までにない議員と町民の皆さんとの目を感じ取ってもらえ、継続して97号でチェックできたことは、議会広報としての役割が果たせたと思います。(笹本)

発行責任者：小川町議会議長 大戸久一

編 集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋さゆり 副委員長 笠原規弘

委 員 笠原英彦・高橋功人・笹本孝幸・五十嵐康博

UD
Font

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています